

Amnesty Japan ユースネットワーク 通信Vol.3

子供の権利条約フォーラム2024in東京における取り組み

この度、ユースチームのメンバーが2024.11/9,10に開催された子供の権利条約フォーラム2024in東京内の、子供の権利に関連した分科会の活動に参加しました！！

子供の権利条約フォーラムとは？¹⁾

→子供の権利条約フォーラムは、1989年の国連総会で採択された、子供の基本的人権を国際的に保障するために定められた条約の普及と、子供の権利について関心を寄せる人々の意見交換、出会い、交流の場です。1993年に始まり、これまで、毎年11月20日の「世界こどもの日」（子どもの権利条約が採択された日）の前後に、全国各地で延べ31回開催されてきました。そして今年2024年は国際連盟による「子どもの権利宣言（ジュネーブ制限）」採択から100年、子どもの権利条約採択から35年、そして条約の日本批准から30年という記念の年になります。また、昨年4月1日には「子ども基本法」が施行され、同じ日に、同法で掲げられたこども施策の立案と実施を担う行政機関として子ども家庭庁も動き出しました。

しかしながら、国内の子どもたちを取り巻く状況を見てみると、子どもが親などから虐待を受けたとして児童相談所が対応した相談件数や、不登校の子供の数、そして自殺してしまった子供の数・若者の数は依然として高いままです。また、経済的に困窮した世帯で暮らし、満足に食べることができない、医療機関を受診することができない、落ち着いて勉強できる環境がない子供たちも多くいます。

このような社会状況のなか、今年開催する東京フォーラムは、節目の年だからこそ、改めて子どもの権利について子ども自身や大人はもちろんのこと、政策決定者や市民団体、教育関係者やメディアも含め、広く社会全体に向けて理解促進のための場を創ることを目的に開催されました。

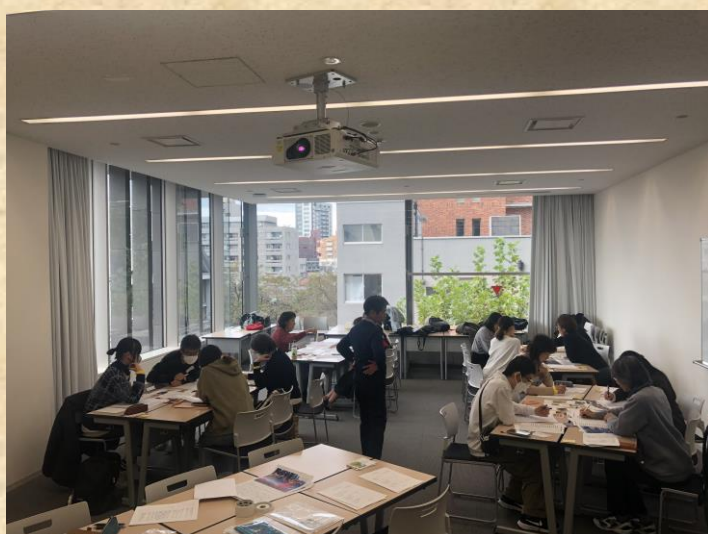
*補足

採択＝条約が合意に達した段階です。条約はまだ成立していません。

批准＝国内の条約締結権を持つ機関が、この条約に拘束されることを最終的に意思表示すること。（日本においては内閣が条約締結権を有する）

11/10 分科会

→アムネスティは11/10のプログラム2日目に対面形式でワークショップを開催しました。アムネスティの人権教育チームが主催で、その活動をユースチームのメンバーがお手伝いしたり、実際にワークショップに参加しました！



分科会の様子

イラストゲームで、知ろうよ！学ぼうよ！言葉にしようよ！ 世界人権宣言と子供の条約

→気球での旅を通して、世界各国をめぐり、それぞれの国で発生する人権問題を解決するのに必要な権利を考えていくワークショップを開催しました。その中で、権利の重要性や自分のお気に入りの権利を発見し、権利に対する関心を深めていきました。ユースチームからは2名がファシリテーターとして、1名は参加者としてワークショップに取り組みました。

↓世界人権宣言のイラスト²⁾



第6条 みんな人権は持っている



第18条 考えるの奈自由



第25条 幸せな生活

参加ユースメンバーの声

子どもの権利条約フォーラムを通じて、子どもの権利条約と世界人権宣言を結び付けて深く考えることができました。貴重な経験ができました。ワークショップの内容作りから携わったり、司会進行を務めたりともっとできることを増やしていきたいです。



子どもの権利条約や世界人権宣言について、参加者の皆さんにより深く知ってもらえたかなと思います！自身でもより深く知ることができ、とてもいい経験になりました。これからもワークショップの主催やボランティアをたくさんしていきたいです！

子どもの権利についていろいろな意見や感想が聞けて良かった。また様々な視点から権利を考えることができた。

ユースチームのメンバーは、子供から大人への定義の移り変わりを近い将来経験する、また、つい最近経験しています。そんな私たちは子どもの権利についてもっと勉強をして、権利を訴えかけていく必要があると感じました！！

²⁾ アムネスティ日本『イラストから考える世界人権宣言』。 [https://www.amnesty.or.jp/lp/udhr-kodomo/\(2024/11/13\)](https://www.amnesty.or.jp/lp/udhr-kodomo/(2024/11/13))